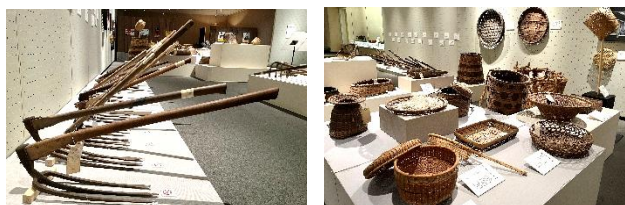


# 1/25(日)まで・「さわれる」展示、茨城県立歴史館で好評開催中 昔のくらし モノ×語り—民具はがらくたか？—

当館では、企画展「博物館でツーリズム!!—江戸時代の旅日記をたどる—」と同時開催で、標記展示を開催中です。会期は残すところあと半月となりました。多くの方が興味深げにご覧になっており、たいへん好評です。まだまだたくさんの方にご覧いただきたい展示ですので、ぜひ御取材をお願いいたします。

## ①画期的!!さわれる展示

使い込まれた鍬の柄のスペース感など、実際に触れて確かめることができます。ざる・かごの見方も解説。



県内外各地の出自をもつ道具。鍬の柄の角度、用途も様々。地域差も確かめられます。カゴの編み方もいろいろで見飽きません。

## ②民具にとって大事なコト情報

資料提供者等からの聞き取りの音声や実際に使用している映像を資料とともに展示しています。コト情報は、民具を使用した場所や家、人の来歴、用途などです。民具の価値は、コト情報がセットになってはじめて判断することができます。



## ③3D 民具でこんなところまで…

民具を様々な角度から高精細の3D 画像で見ることができるタッチパネルを設置。昔の洗濯機なども指1本でくるくる回して見られます。これはおもしろい！

炭火アイロンは実物も展示。3D画像と見比べることもできます。



## ④恒例・参加型企画 絵と文で

お気に入りの民具や自身の民具の思い出を教えてください。中には思わぬ貴重な情報提供も…



「あなたの推し民具（おしのこ）おしえてください！」  
（思い思いのスケッチで）



「モノ×語り掲示板」…たくさんの民具の思い出や展示の感想を書いていただいています。

**来館者の声から**／担当学芸員の視点が表現された展示構成がすばらしい。ただの民具展でないところがよい／ざるの編み目の美しさ、多様さに驚いた。この展示で光を当ててもらって初めて気付いた／民具の3D映像が360°から見られたのでおもしろかった。デジタル化しても、現物でしか得られない情報もたくさんあって、捨てるはいけないと思った／祖父の納屋にたくさん民具があったことを思い出した。なつかしい。

## 昔のくらし モノ×語り—民具はがらくたか？—

- |       |   |
|-------|---|
| 1 期 日 | 令和7年12月9日（火）～令和8年1月25日（日）   |
| 2 場 所 | 県立歴史館（水戸市緑町2-1-15）  |
| 3 概 要 | 資料自体のモノ情報×使う人の語りから得られるコト情報の両方から、民具が何を語ってくれるのか、そして歴史館は「民具の一生」に何ができるのか考えます。 |

【本資料についてのお問い合わせ先】

県立歴史館 管理部教育普及課 根本、長洲

TEL 029-225-4425

E-mail: daihyou@rekishikan.museum.ibk.ed.jp

チラシPDFはこちらから

